

いこと 外資系の会社は採算がとれるようになった後での国有化を恐れていること 鉱山周辺のインフラストラクチャーの壊滅的破壊 等々 金鉱山の再開発のためには越さねばならない多くの壁が立ちほだかっている。

1984年3月にケニア・タンザニア国境が再開され「最も近くて遠い国であったケニア」に直接行けるようになり また豊富なケニアの物資がタンザニアに入り始めた。

タンザニアは何処に行っても緑豊かで飢えない程度の作物・果物は獲れ 牛や山羊のえさにも事欠かない。

しかし 日常物資の不足は人の心を痛めつける ケニアとの物資の交流がはじまったことはタンザニアにとって大変面白い話題である。タンザニアではわれわれは「シカマ」と挨拶され「マルハバ」と返す あるいは元氣よく「ジャンボ」と話しかけられることもある。タンザニア人は性格は穏和で大変人なつっこい。願わくばタンザニアの経済がいくらかでも向上し この人達がより幸福に暮すことができるように!!

タンザニア各地の鉱山探査地域を訪れることができたのはスタミコ・ドドマ所長のモシ氏 (Mr. A. G. MUSHI) の好意に満ちたアレンジによるものである。彼は筆者の帰国後ドドマの南コングワ附近で交通事故に会い逝去された。慎んで哀悼の意を表する。

タンザニアについての文献

Bell, K. and Dodson, M. H., 1981. The geochronology of the Tanzania Shield. *J. Geol.*, 89: 109-128.
 Fripp, R. E. P., 1976. Stratabound gold deposits in Archaean banded iron formation, Rhodesia. *Econ. Geol.*, 71: 58-75.
 Harris, J. F., 1961. Summary of the geology of Tanganyika. Part IV: Economic geology. *Geol. Surv. Tang., Mem.* 1, 143p.
 UNDP, 1969. Mineral Survey of the Lake Victoria Goldfields, United Republic of Tanzania. Final report DP/SF/UN/38 — Tanzania United Nations. *Geol. Surv. Tanzania*, File C 1908, 58p.
 van Straaten, H. P., 1984. Gold mineralization in Tanzania — A Review. In Foster, R. P. (editor), *Gold '82*. 673-685. A. A. Balkema, Rotterdam.

その他 Geological Survey of Tanganyika (or Tanzania) の出版物及びオープン・ファイルレポート。出版物の購入は下記の通り。
 Geological Survey Dept., P.O. Box 903 Dodoma, Tanzania.
 国際協力サービスセンター, 1982 (昭57)。アフリカでのくらし。タンザニア。50p.

地学と切手

フランスの層位学者ブロンニャール

P. Q.

古生物学者キュビュ (G. CUVIER, 1769-1832) は幸運にも彼には欠けている層位学についての知識を補ってくれる協同研究者を持つことが出来た。それはアレキサンダー・ブロンニャール (Alexandre BRONGNIART, 1770-1848) だった。同年輩のこの2人は4年もの間ほとんど毎週地質と化石を研究するために パリの郊外一帯を調査して廻った。ブロンニャールはセーヴルにある陶器工場の経営者だった。彼は製陶の化学的知識や磁器の絵つけの失われた技術の復興を通じて セーヴルの陶器をヨーロッパの中でも最高級品の1つにした。彼は名高い博物学者でもあって 鉱物学の教授として 国立博物館でアユイ (R. J. HAUY, 1743-1822) の後を継いでいた。

彼らの調査の第1回報告は1808年の学会報告にのった。その後も研究を続け 1811年に「パリ周辺の鉱物学的地理的および有機的遺物の研究」を 1812年「化石遺骸に関する研究」を出版した。1822年に彼の出した増補版「パリ郊外の地質学的記述」は パリ郊外の石膏採掘場で調査したパリ盆地の地質学的構造についての報告書で428ページに及ぶ労作である。化石の念入りな分布図 分類 図・表などの完備したもので このような細い研究が近代層位学のさきがけとなった。彼はまた粗面岩 (トラカイト) の命名者でもある。同様な層位学の基礎 すなわち「化石による地層の同定」はこれにより少し前1799年にイギリスでスミス (W. SMITH, 1769-1839) によって築かれた。彼の息子のアドルフ (1801-1876) も植物学に進み 古植物学の父とも言われている。植物化石入門 (1828) や 植物化石の歴史 (1837) などの著書があり1838年に国立博物館の植物学教授に任命された。

切手は1950年発行の赤十字募金付加金付の1種。赤十字募金切手は通例子供を画いたものが多いが これは Houdon 製作の胸像と註記されている。何故この様な彼の子供時代の胸像がとり上げられたかの理由は不明である。

